

## 令和4年度第2回市川市公民館運営審議会 会議録

日時及び会場：2月7日（火）13：30～15:00

市川市生涯学習センター3階 第2研修室

### 【出席者】

委員長 小山勝

副委員長 井上孝枝、伊与久剛史

委員 佐々木孝子、岩下裕昭、松丸陽輔、亀山達次、高橋大策、福井茂子  
(欠席：鈴木敬子)

社会教育課 課長 澁谷裕司、主幹 宗像洋文、主幹 皆川和幸

公民館館長 鬼高公民館 瀧上和彦、信篤公民館 中野政夫、東部公民館 大野英也、

柏井公民館 杉本雅彦、大野公民館 川島智、若宮公民館 宮間政行

市川駅南公民館 横地眞美恵、曾谷公民館 松崎順子

行徳公民館 鈴木秀行、本行徳公民館 黒木政継、幸公民館 堀切宏

南行徳公民館 藤田裕弘、菅野公民館 鈴木孝弘

(欠席：市川公民館 筋俊郎、西部公民館 藤田俊雄)

事務局 岩澤英樹、深津明美、浮谷慎太郎、岩生友理、島田歩

### 【挨拶】

・社会教育課 課長挨拶

### 【会議録】

〔小山委員長〕

これより、令和4年度第2回市川市公民館運営審議会を開催しますが、委員の過半数が本審議会の成立要件となっております。

市川市公民館の設置及び管理に関する条例第14条第2項「会議」の規定に基づき、委員総数10名のうち9名の出席をいただいておりますので、全委員の半数以上にあたりますので、本会議は成立といたします。

また、本日の議題等につきまして、市川市審議会等の会議の公開に関する指針第6条に基づき非公開情報等は含まれていないことから、会議内容につきまして全て公開としてよろしいか伺います。

○委員：異議なし

〔小山委員長〕

公開としてよろしいですね。

それでは、本日の会議は公開とします。

傍聴人の方はいらっしゃいますか。

〔事務局〕

本日は、傍聴希望の方はおりません。

〔小山委員長〕

傍聴希望の方はいないことを確認しました。

## 報告 1 「公民館主催講座の開催及び計画状況」

〔小山委員長〕

報告 1 「公民館主催講座の開催及び計画状況」について説明をお願いします。

〔澁谷課長〕

報告 1 公民館主催講座の開催及び計画状況について

報告 1 は、公民館主催講座の開催及び計画状況についてとなります。

はじめに（1）として令和 4 年度の状況を、（2）として令和 5 年度の前期の計画について説明させていただきます。その後に各公民館の館長からの報告で、今回は曾谷公民館・本行徳公民館・南行徳公民館の順に行います。

報告 1 （1）令和 4 年度公民館主催講座の開催状況について

報告 1 （1） 令和 4 年度公民館主催講座の開催状況について報告いたします。

資料は、前期講座・後期講座・オンライン講座に分け、それぞれに「開催状況表」という横長の一覧表と、各講座名が記載された A 3 サイズの資料があります。別紙資料として、公民館主催講座計画の対象者・課題分類と、公民館講座情報紙 2 0 2 2 秋冬号（以下、ミーティアムガイド）を配布していますので、併せてご覧いただきたく存じます。

### 〔前期講座〕

はじめに、前期講座の開催状況です。お手元の資料では、報告 1 （1）の 1 と 2 になります。前期では 1 0 2 件の講座を開催いたしました。当初計画時の 1 0 3 講座から 1 講座少なくなっていますが、これはスケジュール調整がつかず受講者募集に至らなかった講座があったことによるものです。

講座の全体的な傾向などに関しましては、昨年 7 月の第 1 回審議会で説明していますので省略させていただきます、ここでは前期のうち夏以降に開催した講座を中心に報告させていただきます。

受講者の一斉募集を 3 月末から 4 月に行うため、5 月または 6 月に開講する講座が多い傾向があり、また、一斉募集以外で新たに計画し、受講受付をした講座やイベントがなかったことから、7 月以降に開講した講座は全体の約 1 3 % に当たる 1 3 講座となりました。

この中で、児童または親子を対象とした講座が 5 講座開催されました。柏井公民館「親子で工作～アルミ缶で楽しく作ろう」が 2 クラスありますので 2 講座、ここではアルミ缶やペットボトルといった身近な不用品での造形遊びをとおして環境についても学びま

した。大野公民館の「まんがキャラクターを描いてみよう！」は対象とする学年を中学生までに広げての試みでしたが、実際に参加した中学生は1人だったと聞いております。中学生は塾や部活等で多忙と思われるかもしれませんが、関心のあるテーマの選定と周知方法の工夫により今後も講座づくりにチャレンジすることで、受講者を増やしていく余地はあると考えられます。曾谷公民館の「夏休み市川議場見学ツアー」は、議会事務局との事前打合せを入念に行い、議場を見学しながら市長や市議会の仕事について楽しく学習できるプログラムとなりました。また、本行徳公民館「夏休みに植物を育ててみよう」では、受講者自らがデザインした植木鉢に多肉植物を植えるというもので、絵柄の制作と植物栽培を一緒に楽しめる内容で子どもたちの関心に結び付けました。いずれも学校行事の少ない夏休みの時期を活用して、体験型での学びを意図したものとなっています。

児童を対象とした講座は成人向け講座と比較して受講者が集まりにくい傾向があるほか、コロナ禍による部屋の定員制限や参加の自粛などの状況下で、現在のところ受講人数はかなり限られたものとなっています。しかし、各講座において概ね満足の声が聞かれたことから、子どもたちには貴重な体験学習の機会となっており、学習テーマの工夫や近隣の学校との情報共有を図りつつ、今後の取組みに繋げていきたいと考えます。

児童対象以外では、教養や健康・生活関連のテーマとともに、市川公民館では市内の民話の中で怖い話に焦点を当てた「ぞっとする市川の民話」、曾谷公民館では夏や星に因んだ選曲を交えて鑑賞する「七夕コンサート」というような、季節感を加味した講座の実施が見られました。

前期講座全体としましては、受講者の感想で満足の声や好ましい意見が多く寄せられています。いっぽうで、学習内容に対して「回数が足りない」と感じた方や、作品作りの講座で「宿題を前提としていて負担になった」、古典文学の詩歌を取り上げた講座で「受講者の意見交換が欲しかった」、など、少数ですが不満や要望も出されており、振り返りを行う中で、今後の講座づくりのために適切に改善を図ることは必要と考えております。

## 【後期講座】

続きまして、後期講座の状況について報告いたします。

資料は、報告1(1)の3と4をお願いいたします。後期の講座は、開催中のものやこれから開講するものも含まれますので、受講者数が未集計となっている講座もございます。予めご了承ください。

後期では前期より7件ほど多い109講座を計画いたしました。今年度の差は少ないですが、前期講座と比べて、後期の開催数が多い傾向は続いています。背景には主に2つの理由がございます。

1つは、年度後半に行う講座ということで講師謝礼金などの予算の見通しが立てやすく、講座を企画しやすいということです。

そして2つ目として、後期講座は同一年度内に企画立案から実施まで行うこととなるため、講座を担当する職員の人事異動等に関係なく、責任を持って最後まで自分が講座運営に関われるということも大きな要因と考えられます。

後期講座も前期と同様に、受講対象別分類でf「一般」向け講座が81件で、最も多くなっています。対象分類をc「女性」とした講座が約11.9%に当たる13件ほど見られますが、これは、体操やヨガ・健康麻雀など、同じ場所で男性と一緒に学ぶには女性が抵抗を感じやすいテーマや内容のものを、敢えて女性に限定したものが含まれます。

また、子どもまたは親子を対象とした講座は合計9件で全体の8.3%となりました。

学習内容課題別分類では、1.教養の向上、2.体育レクリエーション合わせると全体の約62%を占めており、以前から持続的に高い割合が続いています。これに対して3.家庭教育・家庭生活と4.職業知識・社会連帯意識の主に生活課題を学ぶ分野は合わせて38件で、34.8%となります。こちらは前期では14講座実施で13.8%であったことと比較すると約2.5倍に伸びています。「市川市公民館主催講座運営方針」の1の(1)主催講座の実施に、「内容別大分類の中から偏りのないように選択」することが記されており、前期に扱わなかった課題やテーマに後期に取組むことで、年間でのバランスに配慮したことが窺えます。当初の担当者が構想から計画、そして終了まで一貫してじっくり関わることのできる故の後期講座の特徴と言えるかもしれません。

分類4-7に、「学校卒業後における障がい者の学びや自立の支援」という課題があります。柏井公民館の「僕たちの卓球」は、この取組みとして、県立特別支援学校大野高等学園の生徒を受講者として、卒業後も続けられるスポーツの学習機会を、学校外の講師により公民館を会場に実施したものです。幅広く障がい者の受講を募ったり、健常者とともに学ぶ機会を、との考え方もありますが、事例の少ない分野でもあることから、まずは地域での第1歩として、大野高等学園の教職員との連携を深めつつ進めているところです。

運営方針に掲げる共通テーマである学校や地域との連携に関しましては、延48の講座で何らかの関わりをもっており、前期と比較して3割以上の増加となりました。コロナの影響もあり対外的な交流が少なくなっているという背景から、内訳としましては、最も身近な存在であるサークル等で活動する講師や会員との連携が多めになりました。

## 【オンライン講座】

つぎに、オンライン講座の状況について報告いたします。

資料は、報告1(1)の5と6になります。制作中・準備中のものも合わせて令和4年度は19講座の実施となっています。内訳は、市川市公式YouTubeによる動画配信が18件で22本、双方型オンライン講座が1件で2回となります。動画配型の主たる対象者は全講座で成人一般となりました。関心をお持ちの方が個人で自由に視聴していただくことが特徴なので、想定した特定の人たちに狙いを絞っていない動画は、対象者区分にはこだわらないという認識になっています。

コンテンツとしては、令和3年度に引き続き、体を動かすコンテンツや工作コンテンツに視聴回数が集中する傾向があります。

また、オンライン講座の作成も3年目に入り、市川市らしさを表現するコンテンツも引き続き制作されました。「行徳のり」を紹介するものや、地元の歴史になぞらえた街歩きなど、地元市川を知ることのできるオンラインツールとしてオリジナリティのある教材となっています。

資料6に掲載のある個々の講座の延視聴回数は、講座ごとに公開期間が異なるため、配信開始日も参考としてご覧ください。

資料6の裏面の最後にあります「給食から学ぶ1Week献立」は、小中学生の保護者にZoomを使用してご参加いただく双方向型のオンライン講座で、3月に2回の予定で開催するため、市の保健体育課・こども家庭支援課の協力のもとに、準備を進めているところです。

## 報告1 (2) 令和5年度前期公民館主催講座の計画について

(2) では、令和5年度前期の公民館主催講座計画について説明いたします。

お手元の資料は、報告1 (2)の1「公民館主催講座(前期)計画表」という横長の集計表と、公民館別に講座名が記載された資料2、課題別に分けて講座名が記載された資料3がございます。このほか別紙資料として、第1回のときにご審議いただきました令和5年度版の「公民館主催講座・連携事業運営方針」をお配りしておりますのでご覧ください。

### 【計画状況】

新型コロナウイルス感染防止対策が一部見直されたことから、公民館の部屋の定員の制限を令和4年12月から緩和しました。講座の定員も見直しをしています。ただ、引き続き感染防止への配慮は必要なことから、それぞれの公民館において講座内容や部屋の構造などに配慮しての人数設定や講座運営を行なってまいります。

令和5年度の前期は、前年度の前期より7件多い109講座を計画しています。

受講対象別では、子どもが4講座、親子が7講座で、子ども関連では合わせて前年度前期より4件多い11講座となっています。女性対象は1件減って8講座、男性対象は2件減って今回の予定はありません。高齢者限定は3件減って1講座、全世代対象などその他に属するものは1件増えて5講座という状況です。

学習内容課題別分類による内訳は、千葉県社会教育調査に合わせた4大分類のうち、1の教養の向上が54講座、2の体育・レクリエーションが20講座、3の家庭教育・家庭生活が23講座、4の職業知識・社会連帯意識が7講座、5の地域交流イベントが1件あります。また、これらの課題別の中では、南行徳公民館の「ドローンに関する知識や資格取得への道」は4-1の「職業に関する知識取得や就労の支援に役立つ」ことを意図した講座で、過去にあまり例のないコンセプトとなっています。

講座の傾向として、公民館の外に出て実習などを行う館外学習についても昨年度から再開していますが、令和5年度前期は9講座で、ほぼ横ばいの件数です。公園や緑地でのスケッチや写真撮影・ボウリング場で指導を受けるボウリング講座・公民館周辺でのウォーキング実習・小学校の体育館でのフリスビー体験などが挙げられます。今後もまだコロナの影響が考えられるので、遠方や混雑する場所への移動を避け、近隣や市内施設を活用しています。

平日と土曜日曜の区分は、平日が65講座で全体の約62%、土曜または日曜が40講座で約38%、前年度前期とほぼ同様の割合です。また、講座の共通テーマである「学校・地域との連携」を見ますと、全体の約34%にあたる35講座が、何らかの連携を絡めたものとなります。学校との連携は5件で、ほかは各公民館で学習しているサークルや地元で活動する団体等に講師を依頼したものが多ようです。令和5年度からは講座以外の連携要素も運営方針の中に加えていますが、講座においてもより一層、地域や学校との情報共有や協力を図りながら展開していくことが大切と考えております。

最後に、無料講師の傾向ですが、館の職員のほか、市の機関や民間団体などの活用により、限られた予算内でより多様な講座を実施できるよう努めています。

なお、前期講座の受講者募集は、公民館講座情報紙の発行日となる3月24日から受付

を開始する予定です。情報紙の新聞折り込みは3月25日としているほか、市川市の公式Webサイトや、各公民館でも周知を図ります。

こちらからの報告につきましては以上となります。

引き続き、各公民館からの報告に移らせていただきます。

曾谷公民館 松崎館長  
本行徳公民館 黒木館長  
南行徳公民館 藤田館長 の順にお願いします。

〔曾谷公民館 松崎館長〕

●曾谷公民館の概要

所在地 曾谷6-25-5  
開設 昭和58年5月(39年経過)  
構造 鉄筋コンクリート3階建  
施設 貸室10室(弓道場、レクリエーションホールを含む)  
図書室、こども館、集会室、地域ケア曾谷  
利用状況 R4.12月末現在  
① 利用者登録数 161組(団体)  
② 利用者登録者数 2,585人  
③ 年間利用状況(令和3年度)67,298人(一日平均202人)  
近隣に公共施設が少なく、高齢利用者多い  
特徴 弓道場(市内公共施設1か所のみ)  
レクリエーションホール使用率が高い

●令和4年度実施の主催講座について

テーマ「講座を通して育もう、教養と知見、地域コミュニティ」

◎ 春・夏講座

- ① 弓道講座…Web申し込みが多い
- ② 楽しい陶芸を学びましょう
- ③ 曾谷周辺のむかし話と百合姫の足あと
- ④ 我が家の防災力を高めよう
- ⑤ アーチェリー入門…Web申し込みが多い
- ⑥ セタコンサート
- ⑦ 夏休み市川議場見学ツアー

◎ 秋・冬講座…春夏よりも枠を増やして実施したため、受講者も増えた。

- ① 映えるスマホ写真の撮影テクニック
- ② 女性向け健康マージャン
- ③ 認知症予防と介護保険について
- ④ バランスボールで体幹アップ
- ⑤ 司馬遼太郎の「関ヶ原」を楽しむ
- ⑥ はじめてのノルディックウォーク
- ⑦ 早春イベント 津軽三味線と落語

◎ **オンライン講座 「見て・来て・学ぼう曾谷公民館」準備中**

…適した講座の選択に苦慮した。40サークルに写真撮影協力の依頼をしたがオンライン講座の認知度の低さに障害があった。  
公民館を利用している方にも利用していない方にも見ていただける工夫が必要と感じた。

● **サークル発表会**

- ① 文化祭実施意向調査…利用者と相談して実施の判断をした。
- ② サークル連絡協議会役員会で開催決定 名称「サークル発表会」  
サークルの発表会のみを行い、家族や知人のみを招待
- ③ 実行員会立ち上げ
- ④ 開催日 10月30日(日) 29日準備
- ⑤ 反省会 12月3日(土)

◎ **実績(令和元年度)**

- ・参加団体数 発表 8 展示 5 (36)
- ・参加者数 227人
- ・来客数 481人 (1,761人)
- ・実行委員 24人:実行委員会4回

◎ **利用者の感想(開催後のアンケートより)**

- ・準備や後片付けには多くの方が来てくれた。
- ・子供や若い方が多くいつもと違う客層が印象的であった。
- ・発表会がないと士気が上がらない。
- ・3年ぶりであったが、以前と同じようにできてよかった。職員に感謝。
- ・実行委員も高齢化しているので若い人にも担っていただきたい。
- ・経験者が少なくなっているため、小規模であるが実施できて、次年度につながった。  
また、参加団体がいきいきしていたのでよかった。(職員)

こどもの展示も提案があったが、お断りしたことが残念。次年度につなげていきたい。  
サークル連絡協議会と連携し、協力することが大切と実感した。

〔本行徳公民館 黒木館長〕

● **本行徳公民館の概要**

- (1) 所在地 : 本行徳12-8
- (2) 開設 : 昭和55年4月5日開館(43年目)
- (3) 構造 : 鉄筋コンクリート3階建
- (4) 施設 : 貸室3室・集会室・図書室・こども館・プール(屋外25m6コース)
- (5) めざす公民館(令和4年度)

～優しく丁寧に対応し、利用者に親しまれる公民館～

- ・職員、地域との連携を大切にする。
- ・老朽化している施設、環境を積極的に改善していく。
- ・利用者との連絡を密に図る。
- ・こども館、図書室、館での講座、事業をアピールしていく。

(6) 利用状況等（令和4年度1月）

① 登録団体 56団体 登録者数 582人（1団体平均10人）

② 年間利用者数 11,158人（1日平均34人）

③ プール利用者数 2,300人（1日平均74人）

…今年度から再開したが、老若男女が水着で訪れる様子がほほえましかった。

(7) 文化祭について

…展示だけの実施は実行委員会で異論が出たため、協議のうえ演技発表も行うこととした。

日時 10月1日（土） 展示 7団体（来客者 152人）

2日（日） 展示 7団体 発表 4団体（来客者 159人）

\*地域との交流として、行徳小学校児童の絵画展示・賞状授与（夏休みの作品）  
市川レンコンの会の梨、ジャム、クッキーなどの販売

…コロナを考慮し、人数制限をして実施。基本的に参加者の家族が参加した。  
次の年のためにも実施してよかった。

●令和4年度実施の主催講座について

(1) 講座の年間重点テーマ

～地域の特色(歴史や文化等)を活かし、学校との連携、  
市民のニーズに合った主催講座の開催～

(2) 年間テーマを踏まえ、以下の5点を重視し講座を計画した。

① 行徳地域の文化や歴史、自然環境に視点を当てること

・それゆけ！行徳調査隊「行徳の今昔」と「おみこし作り」

（令和3年オンライン講座）…大学や小学校の授業に使いたいとの要望有り。

・市川・行徳海苔物語「調理編」・「過去から未来編」

（令和4年オンライン講座）

・身近な樹木に癒されよう（令和4年前期講座）

・行ってみたいな 行徳の自然観察（令和4年後期講座）

② 健康的な心と身体を促進する講座を開設すること

・心と身体を整える初めてのピラティス（令和4年前期講座）

・ヨガで心も身体もリフレッシュ（令和4年後期講座）

③ 子ども(親子)で体験できる講座を開設すること

・夏休みに植物を育てよう（令和4年前期講座）…多肉植物

・みんな集まれ親子体操（令和4年度後期講座）…2～3歳児とお母さん

④ 受講後も継続的に取り組める内容にすること

・クラフトバンドで編むショコラ色バッグ（令和4年後期講座）

⑤ 学校との連携が図れる講座を推進すること

・小学生書初め教室（令和4年後期講座）

…書初め講座申し込みは初め少数だったが、学校に声掛けしたらすぐ埋まった。

●本行徳公民館の課題

(1) 老朽化した施設・設備の改善の必要性がある。…図書室とこども館で空調新調中

(2) 利用者が高齢化しており、サークル活動が活性化していない。

(3) サークル活動、講座について地域住民への周知が難しい。



- ・若い年齢層のサークル開設を目的とした夜の講座を計画していく
- ・地域（自治会）、学校との連携
- ・公民館外に掲示板の設置

〔南行徳公民館 藤田館長〕

### ●南行徳公民館の概要

所在地 相之川1-3-7

アクセス方法 東京メトロ東西線 南行徳駅より15分

JR総武線本八幡駅からバスで約20分『中宿』で下車、徒歩3分

…半径80メートル以内には南行徳小学校や図書館もある閑静な住宅街

放課後は下校児童の音が響き渡る館。

開設 平成2年5月（33年経過）

構造 鉄筋コンクリート2階建て

施設 全11室 会議室4室（25名～50名） 和室2室 10名～12名  
工芸室（40名）視聴覚室（90名）アップライトピアノ スク  
リーン テレビ等、調理室（30名）多目的ホール（230名）

併設施設 地域ケア（社会福祉協議会）…高齢者の相談や車いすの貸出  
こども館 保育クラブ

利用状況（12月末現在）

- ・令和3年度 利用者数 : 20,592人（1日平均 61人）登録団体数103団体
  - ・令和4年度 利用者数 : 20,614人（1日平均 81人）登録団体数107団体
- …コロナ禍前は4万人以上来場した年もあった為、今後増える想定。

文化祭について

令和4年度の文化祭については、中止

理由 令和4年1月当初、サークル協議会と度重なる会議の結果、市民交流も大切であるが、飲食などのリスクもある中、市民の命も大切であり、コロナ禍が落ち着くまでは、保留と判断致しました。来年度は開催の方向で調整予定。

### ●令和4年度の主催講座について

（1）講座の年間重点テーマ

題目：**公民館として地域に親しまれる持続可能な取り組み**

講座の基本方針でもある課題、分類を踏まえつつ、地域の特徴、特色を活かし、地域の幅広い世代の方々が気軽に参加できるような講座を熟考し、今以上に市民交流が深まる持続可能な地域密着型を目指しました。

（2）令和4年度の主催講座

・実施報告

対面講座 前期6回、後期6回全12講座（1講座、2月開催予定）

オンライン講座 1回

・課題分類

① 教養の向上 韓国語講座、万葉集講座

…万葉集は市川ゆかりのある内容とし、人気であった。

② 体育/リクレーション ヨガ講座、ストレッチで姿勢改善、おとなのけん玉

- ③ 家庭教育、生活 …けん玉は高齢者体づくり（全身運動・認知症予防）  
パッチワークで手提げ作成、苔玉や多肉食植物講座、アロマテラピー講座、ランプシェード作成講座  
…自己啓発につながる講座を実施した。
- ④ 地域交流イベント フェンシング講座（オリンピックメダリスト三宅諒氏）  
…フルーレ、エペ、サーブルの型を教える講座  
ルールがわかり、TV で見たときに面白いと意見があった。  
ハワイアン・ウインターコンサート、早春トリオコンサート  
…早春コンサートは1部、2部で実施予定。中学校で音楽活動を行っている生徒に参加いただき、地域密着型のコンサートを実施できれば良いと思う。

### 3. 今後の課題等

- ・対面講座は、反応が見られているが、オンラインはその特徴のうえ、視聴者からのお声が届きにくい。  
どのようなものが好まれているのかを分かるように社会教育課と協議のうえ、コンテンツを制作できればと考えている。

〔小山委員長〕

ありがとうございました。

ただいま説明いただいた「公民館主催講座の開催及び計画状況」についてご意見、ご質問などございましたらお願いします。

- 伊与久委員：資料をもらったが、すべてに目を通して分析して出席は不可能です。  
3つの公民館からの報告は素晴らしいと思います。  
全公民館から報告をいただき、その内容について社会教育課の目標や評価や特筆事例を述べていただく流れだとわかりやすいです。  
課長からの報告をテーマに沿って簡潔に報告いただきたい。
- 小山委員長：3つの公民館の報告は素晴らしい地域にあった活動を目指していると思います。伊与久委員のご意見の様に、より多くの活動状況を含めて報告いただくことは今後必要であると考えます。
- 澁谷課長：今後も参考資料として今回のような資料は提供させていただくが、今後は、いただいたご意見の様に、各公民館の紹介や、個々の講座の紹介などを中心に次年度の報告の方法を検討していきたいと思います。
- 松丸委員：視聴回数が多いオンライン講座を作っている東部公民館は特別な告知を実施していますか？
- 大野館長：特別な告知は行っていません。牛乳パックの講座は、回数が多くなった理由としては難しく何回も見ているのではないかと推測しています。また、環境問題などの意識が進行している世情も反映していると考えています。
- 松丸委員：市民に見てもらえる「発信」に今後より取り組んでほしいです。
- 井上委員：それぞれ公民館の判断で文化祭を実施したことはよかったと思います。オンラインについても時々みっていますが、「常磐井姫」や「kentaのお天気チャンネル」はとても良いコンテンツだと思います。

それぞれの地域の掘り起こしをしている講座はオンライン講座のテーマとして、とても良いと思います。

曾谷公民館の「百合姫」などの講座もオンラインとして配信に適しているのではないかと思います。

- 高橋委員:曾谷公民館前期講座、夏休み議場見学ツアーですが、準備は大変でしたか？
- 松崎館長:新庁舎になったので、どの程度の関心を持たれているかというところから、講座が生まれました。議会事務局と3～4回打ち合わせを行ったため、議会事務局には負担をかけました。
- 高橋委員:子どものうちから政治に関心を持つきっかけとなる、議場探検会はもっとあると良いと思いました。保護者同伴であったが、曾谷公民館の職員が引率したのですか。
- 松崎館長:管財課の許可を得て、議会事務局中心に案内いただきました。議会のビデオの鑑賞や、市長役や議長役などに分かれての模擬議会を実施しました。
- 高橋委員:学校で見学会をやることはできないのでしょうか。
- 澁谷課長:社会科見学でやっている場所もあるかもしれませんが、実態はわからないので確認し本日の議事概要と共に報告いたします。

〔小山委員長〕

ご意見ありがとうございます。

## 報告2 「令和4年度公民館施設の工事及び修繕実施状況」について

〔小山委員長〕

それでは次に、報告2 「令和4年度公民館施設の工事及び修繕実施状況」についてに移ります。

〔澁谷課長〕

### 報告2 令和4年度公民館施設の工事及び修繕実施状況について

「令和4年度公民館施設の工事、修繕について」報告いたします。

右上の位置に「報告2」と書かれた資料をご覧ください。いずれの件数も令和4年12月31日現在のものです。

本市の公民館の多くは開館から30年以上経過しており、施設の老朽化が進んでおります。このため、社会教育課では中期・短期計画を策定し、改修工事及び施設修繕を計画的に実施しております。また、空調・電気・水道等の突発的な不具合も多く発生しており、こちらはその都度、小破修繕として対応しております。

令和4年度の改修工事につきましては、冷暖房の効きが悪くなっていた東部公民館1階の空調機器の改修を「東部公民館冷暖房機改修工事」として行っております。工事完了は令和5年2月28日の予定です。以上1件でございます。

令和4年度の取りこわし工事につきましては、多様な市民ニーズに対応可能な複合施設を整備するため、八幡分庁舎に隣接する旧中央公民館の解体を行った「旧中央公民館取り壊し工事」であり令和4年9月に完了しています。

令和4年度の施設修繕につきましては、はじめに、計画的な修繕は7件予定しており、主な2件を紹介いたしますと若宮公民館では、板壁表面のめくれが著しく、板壁の張替を実施しています。

曾谷公民館では、第1研修室と第2研修室の間にある間仕切りが老朽し開閉が困難な状態のため修繕を実施しています。

最後に、突発的な施設の不具合に対応する小破修繕は、92件実施しております。その内、数例を紹介いたします。

曾谷公民館では、浄化槽のエア配管の腐食により、エアポンプから浄化槽に空気を送れなくなったため修繕しております。さらには、ここ数年、恒常化している空調機の不具合による随時不良部品の交換等の修繕は本行徳・幸・西部・若宮・信篤・菅野の6公民館において、合せて8件行い、利用者に快適な学習環境を提供できるよう努めました。

令和4度公民館施設の工事、修繕についての報告は以上となります。

〔小山委員長〕

ありがとうございました。ただいま説明いただきました「令和4年度公民館施設の工事及び修繕実施状況」について、ご意見ご質問などがありましたらお願いします。

○委員：特に無し

〔小山委員長〕

ありがとうございました。議事を進めます。

### 報告3「令和5年度公民館事業計画の概要」について

〔小山委員長〕

報告3「令和5年度公民館事業計画の概要」について説明をお願いします。

〔澁谷課長〕

### 報告3 令和5年度公民館事業計画の概要について

「令和5年度公民館事業計画」について説明いたします。

右上の位置に「報告」3と書かれた資料をご覧ください。

令和5年度の公民館事業は、昨年度と同様の4つの事業からなり、公民館費の予算総額は2億8,154万7千円です。前年度予算現額と比較して、1,242万3千円の減額となっています。

それでは、各事業の概要を説明します。

1番目「公民館維持管理事業」の予算額は1億1,225万円の計上を予定しています。

主な内容は、施設の適正な管理を行うため、建物の清掃や各種設備のメンテナンスなど17の業務委託の実施を予定しています。施設で日常的に使用する電気や水道など光熱水費もここに含まれます。

2番目「公民館運営事業」の予算額は3,938万1千円の計上を予定しています。主に公民館の貸室や利用者対応等、日々の市民サービスの業務に関する予算です。通信運搬費や備品の整備費用などのほか、公民館運営審議会の予算はここに該当します。

以前は、公民館の管理運用マネージャーや、日勤と夜勤の会計年度職員の雇用に係る予算をここに計上していましたが、現在は社会教育課ではなく職員課での計上となっています。

3番目「公民館主催講座活動事業」の予算額は619万6千円の計上を予定しています。公民館を会場とする対面型の講座・地域交流イベント・動画配信等によるオンライン講座を開催します。各公民館で多岐にわたる分野の主催講座を計画・実施していきます。

4番目の「公民館営繕事業」の予算額は1億2,300万円に計上を予定しています。緊急性や安全確保に配慮した各種の設備修繕に対応するとともに、計画修繕としては、和室部分における畳の床化を予定しています。また、改修工事としては、行徳公民館冷暖房機改修工事、幸公民館エレベータ改修工事の実施を予定しています。

令和5年度公民館事業概要の説明は以上となります。

〔小山委員長〕

ただいま説明をいただきました「令和5年度公民館事業計画の概要」についてご意見ご質問などがありましたらお願いします。

○委員：特に無し

〔小山委員長〕

ありがとうございました。本日の議題、報告事項はこれで全て終了しました。その他に、委員の皆さん、または事務局より連絡等はございますか。

〔澁谷課長〕

新年度の審議会につきましては、新任期になりますので、年度が替わりましたら、事務局より連絡をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

皆様本日はありがとうございました。

〔小山委員長〕

皆様、ご審議ありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第2回市川市公民館運営審議会を終了させていただきます。

また、新年度の公民館運営審議会については、あらためて事務局より連絡があるということですのでよろしくお願いいたします。

令和 5年 2月 7日

## 会議録別紙 質問回答

高橋委員よりご質問の回答

Q. 「各学校において、市川市役所及び議場の見学などの活動を行っているか。」

A. 文部科学省学習指導要領社会科内「社会科の内容構成」において、第3学年の過程として以下の通り記載がある。

これを基に地域社会の社会的事象の学習を市立小学校にて実施している具体的な活動について指導課へ調査を依頼した。

学習指導要領本文より

- (1) 身近な地域や市区町村の様子・・・・・・・・・・①
- (2) 地域に見られる生産や販売の仕事・・・・・・・・・・③
- (3) 地域の安全を守る働き・・・・・・・・・・③
- (4) 市の様子の移り変わり・・・・・・・・・・②

第3学年では、これらの内容を取り上げ、自分たちの市を中心とした地域の社会生活を総合的に理解できるようにするとともに、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うようにする。

### 【調査項目】

- ・令和4年度～平成28年度において  
市役所・議場の見学を行っている学校

### 【調査結果】

- ・学習指導要領(1)～(4)は全ての学校で取り組んでいる。平成31年度以前は(1)について、実際に市内の施設を見学に行っていたが、コロナ禍においては実施されていない。

平成31年度以前は、第3学年において、消防局・クリーンセンター・浄水場・梨の選果場等の施設に見学に行く事例が多かった。(各学校どこに行っていたかは、当時の先生も異動しているため調査不可)

市役所・議場の見学を行っていた学校は以下の通りである。

平成31年度 稲越小学校

平成30年度 稲越小学校

平成29年度 稲越小学校

平成28年度 富貴島小学校

※3年生以外に市役所見学を行っていた事例は以下の通りである。

平成31年度 高谷中(市役所の仕事体験)

平成28年度 富貴島小学校2年生(生活科「まちたんけん」)

なお、議場見学については、①議場の見学可能スケジュール②児童移動のためのバスの手配③バスを止められる駐車スペースの確保等の課題があり、1年度に多くの小学校の見学を受け入れることは難しいという実情がある。